

千葉歴史の散歩道

古代下総の役所群—市川市国府台遺跡—



このだい
文化財主事 勝田 雄大
県教育庁教育振興部文化財課

7世紀後半から8世紀初頭にかけての日本列島では、中国を規範として、律令という法体系にもとづく中央集権国家の建設が目指された。それに伴い、地方行政制度の整備も進められ、各地に国—郡—里（郷）が置かれることとなった。現在の千葉県は、およそ当時の下総国・上総国・安房国にあたり、各国には政府の出先機関である国府が置かれた。このうち下総国府の所在地が、現在の市川市（当時の下総国葛飾郡）にあたりと考えられている。

国府台遺跡は市川市国府台に位置する。この地域は「国府台」という地名の示す通り、下総国府の中核施設である国庁や関連する諸施設の所在が想定され、過去の発掘調査でも、古代の役所群が立地していたことを想起させるような遺構・遺物が見つかった。

県教育庁教育振興部文化財課では平成28年度～令和4年度にかけて、県営住宅の建て替え工事に伴い、遺跡南端部地点での発掘調査を実施してきた。その結果、平成28・29年度の調査では古代の道路跡が、令和2～4年度の調査では主軸方位を揃えた掘立柱建物群、建物地下を掘り込み土質の異なる土を交互につき固めて埋め戻す地盤改良（版築工法）を行った建物跡（写真1）、南北に延びる大型の溝状遺構（写真2）などが検出された。このうち掘立柱建物群と大溝は主軸方位が揃い、また、建物群が大溝に東側で区画されている

かのように分布しているため、これらは、一連の施設であったと考えられる。同地点とその周辺は、葛飾郡を統括する葛飾郡家に関連する諸施設の所在が想定されており、今回検出された遺構群についても下総国府もしくは葛飾郡家に関連する施設である可能性がある。

昨今では、市川市教育委員会によっても下総国庁推定地である市川市スポーツセンター野球場とその周辺の調査が進められている。国府台遺跡の今後の調査成果に注目である。



写真1 版築遺構



写真2 大型溝状遺構

千葉教育 葉 (No. 684) 令和6年2月1日発行

編集・発行 千葉県総合教育センター（代表）鉄井 修一
〒261-0014 千葉県美浜区若葉2-13 TEL 043-276-1204
URL <https://www.ice.or.jp/nc/>
印刷所 千葉県療育センター いずみの家
〒261-0003 千葉県美浜区高浜4-8-3 TEL 043-216-2465